

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	健康福祉センターの健康づくりについて	病後のリハビリ等でトレーニング室を利用する方もいるが、ウォーターベットやアロマカプセルの器具が壊れている。修繕して再度利用できるようにすべきと考える。	老朽化した器具は順次撤去していく。今後は利用者アンケートをとり、健康づくりのニーズに対応した施設になるよう検討したい。
2	新庁舎建設について	新庁舎に係る設計業務の公募型プロポーザル方式においては、二次審査員は専門家を増やし、副市長と企画部長はオブザーバーとして公平公正にすべきと考える。	業務で使う庁舎なので、職員である両者の判断でよりよい庁舎になると思う。審査はプレゼンテーションで公開で行われるので公平公正に実施できる。
3	子ども・子育て支援について	幼稚園の預かり保育で先生方が超過勤務になっている。賃金アップも含め、給与を見直さないと保育士を充足できないと考える。	民間の給与等を勘案しながら、改善に向け調整して努力したい。決して現状が恒常的にならないように努めたい。
4	防災行政について	海岸沿いの小学校や住民の避難対策として、固定資産税が2分の1免除される「我が町特例」を活用した津波一時避難ビルの整備が必要と考える。	現在21棟の津波一時避難ビルがある。今年度も指定条件に合致した新たに建築されたビル等と交渉し、津波一時避難ビルを増やしていきたい。
5	市道4号線における歩道の未整備区間及び今後の具体的な取り組みについて	市道4号線は歩道の未整備区間が多く、ドライバーや地域住民から安全確保の要望が強い。早期の整備が必要不可欠と考える。	大部分が片側歩道となっている。今後は県道に格上げし、幹線街路として県が主体となり拡張整備を進める予定で、地域住民との合意形成は市が行う。
6	旧空港跡地について	当局においても旧空港跡地の無償を含めた払い下げについて調査をしながら、政府に対して働きかけをすべきと考える。	財政法の規定で困難である。新庁舎建設のスケジュールを考慮し、不動産鑑定を踏まえた適正価格での売買契約を行うことで調整を進める。
7	公園管理について	真栄里公園でのサッカースクールの練習中にボールが国道に飛び出すなど、危険な状況もあるため、フェンスやネット等での安全対策が必要と考える。	真栄里公園は事業完了しており、補助事業の導入による施設整備は困難であるが、他の事業等でフェンスやネット等の設置が可能か検討したい。
8	道路行政について	都市計画決定から48年が経過し、その間自分の土地を有効活用できない地権者もいる。都市計画道路の一部見直しの必要があると考える。	二中北通りについては一部の見直しについて必要性が出てくる。全体的な計画の中で未整備部分については見直しを検討する必要がある。
9	尖閣諸島問題について	字登野城だけでは尖閣諸島だと分からない。字名に「尖閣」をつけることで、国内外に戒めることが市長の役目だと考える。	住所の中に石垣市登野城尖閣と入れる提案は意義深いと思う。諸般の手続き等が必要なので、それらを研究しながら前向きに検討したい。
10	石垣市の客引き行為の実態について	客引き行為は観光客や地域住民の気分を害し、観光立市である石垣市にマイナスのイメージを与える。ルール作りや条例等に対応すべきと考える。	客引き行為は好ましくないと考える。飲食業組合や社交業組合と相談しながら、ルールづくりやお互いの認識を確認していきたい。条例の制定については次の段階と考えている。
11	水族館計画の進捗状況について	市長の公約である水族館計画の進捗が見えてこない、財源においても不安がある。計画自体の見直す必要があると考える。	基本構想・基本計画までは立ち上げてきた。財源等あらゆる角度から確保しながら、できるだけ早い時期にめどをつけたい。
12	自衛隊配備計画について	自衛隊配備計画について、市長はどのような見解か。	安全保障については国の専権事項であるため、詳細を聞いた中で市民に情報をオープンにして議論をしていながら判断する。
13	教育行政について	児童生徒の派遣費補助については、年度後半になると予算がなくなり、要件を満たしても対応できていない。公平性の観点からも改善する必要があると考える。	年々増加する派遣人数に対応できるよう引き続き予算の確保に努めながら、現在の1人当たりの交付額が適切か補助制度の内容について今後検討したい。